

1 評価の概要

「静岡県困難な問題を抱える女性支援基本計画」の進捗の指標としている数値目標について評価を行う。

2 個別目標達成状況区分

| 区分    | 判断基準                             | 個数 |
|-------|----------------------------------|----|
| 目標値以上 | 「現状値」が「目標値」以上のもの                 | 5  |
| A     | 「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの | 2  |
| B     | 「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの       | 2  |
| C     | 「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの | 0  |
| 基準値以下 | 「現状値」が「基準値」以下のもの                 | 3  |
| —     | 統計値等発表前、当該年度に調査なし等               | 1  |

3 評価

| 目標とする指標                                  | 基準値                              | 目標値<br>(2028年度)          | 令和6年度における評価                      |       |                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------|----------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                          |                                  |                          | 現状値                              | 達成状況  | 今後の課題・取組の進め方等                                                                                                                                       |
| 女性相談・DV相談ダイヤルの認知度<br>(ホームページのアクセス数)      | 3,096<br>アクセス<br>(2022年度)        | 毎年度<br>4,000<br>アクセス     | 4,925<br>アクセス<br>(2024年度)        | 目標値以上 | 引き続き女性相談・DV相談ダイヤルの認知度向上に努める。                                                                                                                        |
| 市町における地域の青少年<br>声掛け運動実施率                 | 82.9%<br>(2020年度)                | 毎年度<br>100%              | 100.0%                           | 目標値以上 | 今後も、すべての市町で、地域の青少年声掛け運動に関する活動(研修、運動等)を実施できるよう、県内の市町(35市町)担当者に実施を依頼していく。                                                                             |
| アウトリーチ支援や居場所の提供<br>に取り組む民間団体数            | 7団体<br>(2023年度)                  | 15団体                     | 12団体<br>(2024年度)                 | A     | 引き続き、補助金の活用等を通じて、アウトリーチ支援や居場所の提供に取り組む民間団体を支援していく。                                                                                                   |
| 委託一時保護所の数                                | 12か所<br>(2023年度)                 | 15か所                     | 12か所<br>(2024年度)                 | 基準値以下 | 一時保護を必要としている被害者の多様なケースに対応するために、今後も多様な一時保護施設を確保していく。                                                                                                 |
| 女性自立支援施設が行う面接相談<br>や対応の満足度               | 100%<br>(2022年度)                 | 毎年度<br>100%              | 100%<br>(2024年度)                 | 目標値以上 | ひとりひとりの意見や要望に真摯に耳を傾けて、本人との話し合いの時間を大切に対応している。                                                                                                        |
| 就労を希望する女性自立支援施設<br>入所者が就労できた割合           | 100%<br>(2022年度)                 | 毎年度<br>100%              | 就労希望者<br>なし<br>(2024年度)          | —     | 就労を希望する者が就労できるよう、施設職員によるハローワークへの同行や模擬面接等の実施、WEBを活用した就職活動を行い、就労支援を行っていく。                                                                             |
| 新たに相談があった生活困窮者<br>に対する支援プラン作成率           | 11.8%<br>(2020年度)                | 15%                      | 27.6%<br>(2023年度)                | 目標値以上 | 新規相談受付件数は、新型コロナウイルスの感染拡大以前と同等の水準にまで減少した一方で、プラン作成件数は2,000件程度を維持している。これにより、策定率は20%を超えて増加傾向にあることから、引き続きプラン作成の増加を図りつつ、プランに基づき就労先の確保や増収等の自立に向けた支援を行っていく。 |
| 女性相談支援員の配置市町数                            | 18市<br>(2023年度)                  | 35市町                     | 22市町<br>(2024年度)                 | B     | 女性相談支援員を配置する市町が増えるよう、女性相談支援員の業務内容の理解や活用できる補助金の周知に取組む。                                                                                               |
| 協働可能な民間団体数                               | 30団体<br>(2023年度)                 | 50団体                     | 39団体<br>(2024年度)                 | A     | 協働可能な民間団体の把握を進めるとともに、団体の活動が継続できるよう支援していく。                                                                                                           |
| 困難な問題を抱える女性支援基本<br>計画策定市町数               | 0市町<br>(2023年度)                  | 23市町                     | 4市<br>(2024年度)                   | B     | 市町における計画策定状況の共有や情報交換を通じて、計画策定の働きかけを行う。                                                                                                              |
| 学校に相談できる人がいると答える<br>児童生徒の割合              | 小学生82.3%<br>中学生82.4%<br>(2020年度) | 100%                     | 小学生55.4%<br>中学生66.5%<br>(2024年度) | 基準値以下 | 「静岡県人権教育の手引き」の活用等を通じて、学校における人権教育を推進し、教職員の人権感覚を高める。<br>教育相談に係る教員研修の充実を図り、教員の資質向上とともに、児童生徒が相談しやすい環境づくりに取組む。                                           |
| SNSに起因する子どもの性被害<br>防止に向けた非行防止教室の開催<br>回数 | 平均956回<br>(2016～<br>2020年)       | 毎年<br>1,100回<br>(2025年度) | 1,344回                           | 目標値以上 | 学校や教育委員会等の関係機関と連携し、SNSに起因する性被害防止に向けた合言葉「しずおかポリス」ふじネット」」等による広報啓発活動を行っていく。                                                                            |
| 女性相談支援員等に対する資質<br>向上研修の延べ受講者数            | 418人<br>(2022年度)                 | 毎年度<br>500人              | 336人<br>(2024年度)                 | 基準値以下 | オンラインを併用する等、研修に参加しやすい環境作りに努める。                                                                                                                      |